

スポーツ解剖学Ⅱ

科目ナンバリング GEA-302
選択 2単位

加藤 基

1. 授業の概要(ねらい)

スポーツ指導者としてアスレティックトレーナーとして活動する場合には、身体の構造と機能について十分に理解しておくことが求められる

本授業では、スポーツ解剖学概論およびスポーツ解剖学Ⅰで学習した内容をより専門的に学習する

解剖学的な身体構造から、ヒトの動きを考察し、また動きに制限が見られる場合、その理由を解剖学的視点で考察する

2. 授業の到達目標

動きを解剖学的視点から考え、説明できるようにする

また、様々な構成組織からなるヒトの身体が動く際に、身体内部で組織がどのような位置関係になっているかイメージできるようにする

3. 成績評価の方法および基準

小テスト50点(10点×5)および期末テストとレポート50点の合計100点で評価する

出席点は付与しない

4. 教科書・参考文献

参考文献

坂井 建雄 / 松村 譲児 プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論／運動器系 第3版 医学書院

Donald A. Neumann 筋骨格系のキネシオロジー 原著第3版 医歯薬出版

Mathias Bähr / Michael Frotscher 神経局在診断 その解剖,生理,臨床(改訂第6版) 文光堂

5. 準備学修の内容

課題として出す人体の骨・筋の名称、筋の起始・停止および機能、神経、脈管は覚えてから参加すること。

6. その他履修上の注意事項

スポーツ解剖学概論およびスポーツ解剖学Ⅰを履修していることが望ましい

※スポーツ解剖学概論およびスポーツ解剖学Ⅰで履修した内容を理解している前提で授業を進めていく

ただの暗記科目としておさえず、実践に活用できるように、機能解剖学をベースとした思考法を身につけてほしい

授業内で実習をする際には積極的に取り組むこと

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション/課題説明
- 【第2回】 解剖学と動き&介入総論
- 【第3回】 股関節の機能解剖とその動き&介入
- 【第4回】 膝関節の機能解剖とその動き&介入
- 【第5回】 足関節・足部の機能解剖とその動き&介入
- 【第6回】 神経系の機能解剖1
- 【第7回】 神経系の機能解剖2
- 【第8回】 肩関節の機能解剖とその動き&介入
- 【第9回】 肘関節の機能解剖とその動き&介入
- 【第10回】 手関節・手部の機能解剖とその動き&介入
- 【第11回】 脈管系の機能解剖1
- 【第12回】 脈管系の機能解剖2
- 【第13回】 脊柱の機能解剖とその動き&介入1
- 【第14回】 脊柱の機能解剖とその動き&介入2
- 【第15回】 まとめとテスト